

## [養殖状況]

生長は全地区で良好です。クロダイの食害は場所によって未だ発生し、カモの食害は全地区で発生している模様です。色調は一旦、低下ぎみでしたが、現在、全地区で回復しています。内湾ではあかぐされ病が発生し、網によって製品に少なからずの影響が出ています。

## [気象・海況]

○気象 2月下旬の気温は平年より3.1℃高く、日照時間は139%、降水量は0%でした。向こう1か月の気温は「高い～かなり高い」と予報されています。

○水温 千葉北部は11℃前後、木更津地区～富津は12℃前後、富津地区は14℃前後です。平年より約1.5℃高めです。

○沖合水 3/1あたりから再び波及しやすい流型に変化しており、3/2には16℃台まで上昇しました。

○栄養塩 3/4～5の観測結果において、ノリ漁場周辺の窒素は132～578 $\mu\text{g/L}$ と十分量ですが、リンは4～13 $\mu\text{g/L}$ と全体的にやや低下ぎみです。ただし、栄養塩を枯渇させる大型珪藻ユーカンピアは、ごく僅かな量であるため、今後も栄養塩の極端な低下が長期化する可能性は低いと考えられます。

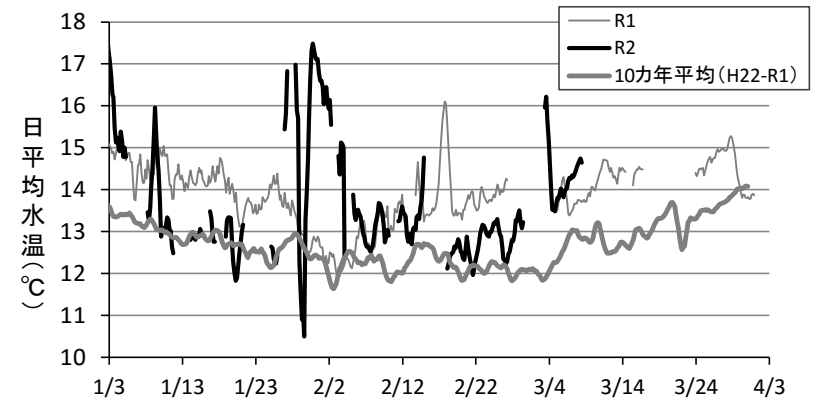


図1 新富津漁場(観測ポイント)の表層水温の推移

## [今後の留意点]

○3月の気温は「平年よりも高く、降水量は平年並みか多くなる」予想です。この条件から今後の状況を考えると  
→栄養塩は一進一退で徐々に減少していくが、4月まで養殖可能レベルの含有量が期待できる。

→あかぐされ病の発生と蔓延に対して、最大限の注意と対策が必要になる。

○以上のことを念頭におきながら、漁期末まで粘り強く生産を継続してください。